

## 令和4年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会議事要旨

日 時：令和5年1月30日(月) 10:30～12:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出席者：7名

井岡亜希子(まるレディースクリニック院長)、埴岡健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所教授)、東尚弘(国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター長)、平田哲生(琉球大学病院診療情報管理センター長)、伊佐奈々(琉球大学病院がんセンター・診療情報管理士)、増田昌人(琉球大学病院がんセンター長)、有賀拓郎(琉球大学病院診療情報管理センター副センター長)

欠 席：2名

天野慎介(全国がん患者団体連合会理事長)、伊藤ゆり(大阪医科大学研究支援センター医療統計室室長・准教授)

陪 席：1名

並里亜衣(琉大病院がんセンター)

### 報告事項

#### 1. 令和4年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会について

増田委員より資料1に基づき、第2回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会の議事要旨についての説明があった。また、今回議題となっている医療者調査については、時間の関係上先送りにするとの説明があった。

#### 2. その他

特になし。

### 協議事項

#### 1. 第4次沖縄県がん対策推進計画 協議会案の作成について

増田委員より、資料2に基づき沖縄県がん対策推進計画について第3次沖縄県がん対策推進計画、国の計画をまとめており、14項目で作成しているとの説明があった。

埴岡委員より、国の計画の医療分野(12項目)を2つか3つぐらいに束ねてはどうかとの提案があった。

有賀委員より国のがん計画にある4(5)患者・市民参画の推進、(6)デジタル化推進から矢印がでていないが、どこかに入れ込むのかまたは沖縄県の計画案としては触れない予定なのかとの質問があった。増田委員より、全部に関係するものなので矢印は出していないとの回答があった。埴岡委員より4(5)は「14：がん対策を総合かつ計画的に推進するために必要な事項」に入れるべきではないかとの意見があった。

井岡委員より、中間アウトカムが多いので優先順位をつけてはどうかとの意見があった。

埴岡委員より、医療提供体制部分の医療者調査とロジックモデル案の対応がうまくいっていないとのコメントがあった。調査票、ロジックモデル案には国のロジックモデルの分野分けにあるような小見出しをつけて整理してはどうかとの意見があった。

東委員より、項目が多くて見づらいので、できるだけ見やすくしてはどうかとの意見があった。また、どこにフォーカスがあるのかを考えることが今後の作業で重要になってくるのではないのかとのコメントがあった。

埴岡委員より、カテゴリー分け、沖縄独自のものまたは全国のものをそれぞれマーキングすると分かりやすいとのコメントがあった。

伊佐委員より、次回の部会までにカテゴリー分け、項目の並び替え、沖縄独自のもの全国のものをマーキングができればよいとのコメントがあった。

埴岡委員より、一次予防の「禁煙対策が十分に行われている」は「喫煙率が減少している」、「生活習慣の改善ができていく」は「リスクが下がっている」に文言を変えてみてはどうかとの意見があった。

## 2. 医療者調査について

医療者調査については時間の関係上、先送りにすることとなった。

## 3. 次回ベンチマーク部会開催日程について

増田委員より、日程調整を再度お願いするとの説明があった。

## 4. その他

特になし。